

Model Graphix 『逆襲のシヤア／閃光のハサウエイ』編

大日本絵画

モデルグラフィックス編



Model Graphix

ガンダム アーカイヴス

『逆襲のシャア／閃光のハサウェイ』編

月刊モデルグラフィックス編

大日本絵画

Model Graphix

ガンダム アーカイヴス

『逆襲のシャア／閃光のハサウェイ』編

月刊モデルグラフィックス編

'85年に創刊した模型専門雑誌『月刊モデルグラフィックス』には創刊当初より数々のガンプラ作例やスクラッチビルド作例が掲載され続けてきていますが、本書はその膨大な作例群の中から『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』と『機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ』を題材とする作例をピックアップしまとめたものです。なお、本書内でのガンダム世界考証は模型を楽しむための独自のものです、公式設定を下敷きにしていますが、公式設定ではないことをお断りさせていただきます。





*本書では基本的に雑誌掲載当時の記事表記に準拠するようにしています。そのため、「本誌」＝「月刊モデルグラフィックス」、「MG」＝マスターグレード、「PG」＝パーフェクトグレード、「センチネル」＝ガンダムセンチネルの略となっています。また、記事中にあるマテリアルやキットに関する表記は雑誌掲載当時のままとなっているため、現在は販売が停止されていたり名称が変更になっていたり価格が改訂されていたりする場合があります。また、プレミアムバンダイ販売アイテムは購入受けを終了している場合があります。悪しからずご了承ください。



Contents;

ガンブラベディア U.C.00934	ガンダムテクノロジーアフターU.C.009350
RX-93 ヴガンダム (BANDAI SPIRITS 1/144 RG) 製作/堀越智弘.....6	FA-93HWS ヴガンダムHWS (BANDAI SPIRITS 1/144 RG) 製作/堀越智弘.....54
MSN-04 サザビー (BANDAI SPIRITS 1/144 RG) 製作/めっきー.....14	RX-93-12 Hi- ヴガンダム (BANDAI SPIRITS 1/144 RG) 製作/堀越智弘.....62
MSN-03 ヤクト・ドーガ (BANDAI SPIRITS 1/100 RE/100) 製作/フリークショー.....22	歴代ガンブラ Hi- ヴGUNDAM 徹底比較解説68
RGZ-91 リ・ガズィ (ユニコンVer.) (BANDAI SPIRITS 1/100 MG) 製作/ジワラ.....26	RX-105 ミガンダム (BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC) 製作/朱鳥@カワグチ.....75
RGZ-91B リ・ガズィ・カスタム (BANDAI SPIRITS 1/100 MG) 製作/堀越智弘.....30	RX-104FF ベーネローベ (BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC) 製作/堀越智弘.....86
ガンブラベディア U.C.009334	RX-105 ミガンダム (BANDAI SPIRITS 1/144 HGUC) 製作/黒川ゆく.....96
ラー・カイラム (スクラッチビルド 1/1200) 製作/西村剛.....44	



シャアとアムロの因縁を描く ガンダム史上に残る名作をいま一度

『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』は、アムロとシャアの因縁のゆくすえ、宇宙世紀を彩る名パイプレーヤーたちの活躍、劇場版として緻密に描き込まれたメカ作画……などなど、奥深い魅力を持つ、いわずと知れたガンダム史上に残る名作中の名作。いまなら、ハサウェイ視点から見返してみるといろいろ趣深いぞ。

◀配信でも見られるけれど何度も見返したくなる『逆襲のシャア』ならBlu-ray版、とくにリマスター4K版がおすすめ。『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア 4KリマスターBOX (税込1万120円/上)』、『U.C.ガンダムBlu-rayライブラリーズ 機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』(税込4180円/下)。

『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』の ガンプラ総ざらえ!

アップデート U.C.0093

『逆襲のシャア』が作りたいたい!

『逆襲のシャア』のガンプラが作りたいたい! え、なぜいまかって? それは……RGのVガンダムとサザビーが出揃い、リ・ガスィもMGのユニコーンVer.としてリニューアルされ、RGのVガンダムHWSの発売も決定してCCA-MSVも充実——近年の仕様の出来がよいガンプラが選びほうだい。『機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ』の公開までペーネロペーやメッサーを作り予習して待つのもよいのですが、むしろ『逆襲のシャア』を復習して宇宙世紀世界に想いを馳せたい! というわけで、『逆襲のシャア』のガンプラを全力で特集します!





RX-93 V GUNDAM

1/144 REAL GRADE

**Vガンダムの最進化形、リアルグレード。
ほどよいサイズ感でよく動いて細密、
RGは伊達じゃないっ!!**

これまで6度に渡ってガンブラ化されてきたVガンダム、それぞれの製品に異なる魅力がありますがいま作るなら断然RGなのではないでしょうか。最新のガンブラテクノロジーを1/144に濃縮し、もっとも細身でスタイリッシュなアレンジとなったRG Vガンダムを、塗り分け塗装と小ディテール工作でどこまでカッコよくできるか、チャレンジです!

RG RX-93 Vガンダム
BANDAI SPIRITS 1/144
インジェクションプラスチックキット
発売中 税込4620円
出典 / 『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』
製作・文 / 堀越智弘

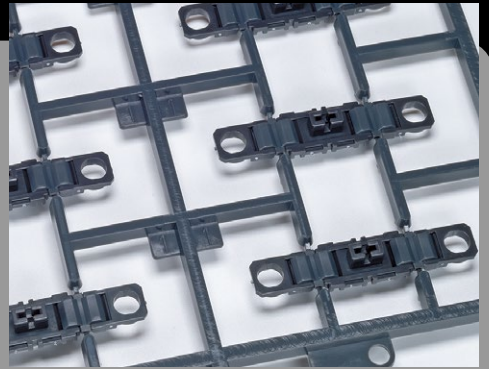


可動ギミックにさらなる磨きがかかったRG Vガンダム

Vガンダムのフォルムアレンジの新たな方向性を見せてくれたRG、フォルムアレンジの詳しい紹介はP11に譲るとして、ここではさらに進化を遂げた可動ギミック面を紹介しよう。

RGのウリである組み立て済み可動フレーム、アドヴァンスドMSジョイントは、Vガンダムではフィン・ファンネルに採用。6基あるファンネルがとも組み立てやすくなった。本体の可動ギミックで注目なのは股関節周辺で、股関節

を左右独立式内蔵スイング可動にするとともに、腰部フレーム全体が前傾するギミックを搭載。胴内可動とあわせて上体の前傾できる幅が大きくなった。また、フロント/サイドスカート基部を独立可動するフレームとすることで、脚を大きく上げたときにスカートを横に流して逃がせるようになっている。脚部は外装が割れて連動可動するギミックを搭載。大きく曲げてもアウトラインが崩れなくなっている。



▲フィン・ファンネルに内蔵されるアドヴァンスドMSジョイント15。この上に黄色いパーツとグレーのパーツ、白いパーツを重ねていく
▶スカートを横に流すギミックは最近のトレンド。股関節が軸やボールジョイントの場合太もも自体はいくらでも上に上げられるが、スカートが干渉するとそこが限界になる。スカートが横に動くこと干渉が避けられ、太ももをより上に上げることが可能になるのだ。腕や脚は、180度近くまで曲げられるのはすでに普通になりつつある。その次の段階としてこだわって設計されているのが、曲げたときのアウトラインがより崩れないようにすることだ



●ニュー・ハイパー・バズーカは砲身が伸縮しグリップが可動。ビーム・ライフルは腰のうしろ側に装着することもできる。作例では無改造でそのまま製作している
●頭部はアンテナとアゴ周辺をシャープになるよう削ったくらいではほぼそのまま製作。RG Vガンダムのフェイスは、小顔で設定画とは違うカッコよさでまとめられている





●ベースとエフェクトパーツが付属する「RG νガンダム フィン・ファンネルエフェクトセット」(税込6600円)、ダブル・フィン・ファンネル装備にできる「RG νガンダム用ダブル・フィン・ファンネル拡張ユニット」(税込1870円 プレミアムバンダイ販売)も発売されている





いま作るなら、RGでいこう！
レガンダムのガンプラの最新形、

RX-93-2 REAL

GUNDAM



●RG ヲガンダムには外装が展開するギミックが搭載されているが、MG Ver.Kaのような新設定というよりは、後発のHWSを装着するためのものといったカンジだ。胸部横下部外装やフロントスカートの一部を下げるとダボ穴が現れる
●今回の作例では、発売の決定しているRG HWSを装着させる時のことを鑑みて、HWSが装着できなくなるようなフォルム改造は行なわないようにしている。ちょっとしたディテール工作に塗装とマーキングの追加でどこまで見映えよく仕上げることができるとかをテーマとした

最近のRGシリーズはパーツ数こそ多いですが、分割や構成が巧みでも作りやすく、ゲート跡が目立たない設計で、組みあげると1/144とは思えないほどのクオリティーになります。ギミックもすごくて、シリンダーや装甲まで連動して可動し、ポーシングもはっちり決まります。PG並みのギミックが凝縮しているのも無塗装で組み立てても楽しいのですが、作例ですのでもちろん塗装して仕上げていきます。

頭部のアンテナをシャーブに削るのは定番工作。アゴ周りもカンナがけで削って、よりスッキリした印象にします。

首はちょっと細い印象なので左右に割り

1mmプラ板を挟んで大きくしています。

胸上部の左側にあるカメラの突起を右側にも取りつけてみました。右側のアンテナは大きめでバランスがあまりよくないのが理由です。HWS時には外すことにします。

腰の横の小スラスターにはスリット入りプラ板を貼ってそれらしくします。胸部はHWSのパーツを取りつけるギミックが多い部分なので、ディテール工作はしましたが、プロポーション改善などはしていません。

腕部は胴体と脚部に比べると少し短く感じます。上腕の外装J2パーツを真ん中から輪切りにし1mmプラ板を挟んで延長しました。フレームは延長せず外装パーツを延

長しただけでも上腕が長く見えます。前腕のスラスターは市販パーツに変更。キットの拳はよい形をしています。今回はコトブキヤのフレームアームズから流用しました。ボールジョイントを付け替えたり手の甲パーツを作り直したりしています。

脚部は、ギミックが満載でスネの両脇にはHWSを取りつけるので、下手に手を加えると取り返しのつかないことになります。そこで今回はつま先の部分にプラ板を貼って尖らせただけです。また、肩とスネ部分にサイコウェーブ受信機を想定してメタリックグリーンのテープを貼っています。

フィン・ファンネルには組み立て済みのアドヴァンスドMSジョイントが採用されています。パーティングラインを整形しガイヤカラーのマルチプライマーを塗布してから塗装しましたが、動かすと剥がれやすいです。今後の課題ですね。中央のユニット部分にはスリット入りプラ板を貼ってディテールを追加しました。ビーム・ライフル、ニュー・ハイパー・バズーカ、シールドはパーティングラインを消しただけです。

全体にディテール追加工作は最小限に留め脇腹にスチ彫りを追加したくらいです。

塗装ですが、白は33色で塗り分けました。M1カラーGXのクールホワイト、ガイアカラーのニュートラルグレー1と2の3色です。パーツごとに塗り分けるのはもちろん、大きいパーツはマスキングでさらに塗り分けられます。手間はかかりますが確実に仕上がりが向上します。MGよりはパーツが小さめでマスキング作業はそれほど大変ではないと思います。フレーム色も3色使います。とくに、ヒンジ関節部分の丸いモールドの内側を違うグレーに塗るのがおすすめです。ハイキューパーツの円形マスキングシールが便利です。デカールはガンダムデカールのヲガンダム用、ユニコーンガンダム用、鋼魂デカールなどを使いました。

RG ヲガンダムは、プロポーション、ディテール、ギミックのすべてにおいて高次元で、誰もが認めるヲガンダムの傑作キットであると思います。次はぜひRGでHWSを着せたいですね。





パチ組み

T/144 REAL GRADE RX-93-2 GUNDAM



●フォルムはほぼ無改造。改造箇所は上腕を外装パーツだけ延長したのと、ハンドパーツを換え、つま先をプラ材で突っ立たせたりした。COSPG、可動箇所が非常に多く、関節が2重になっている箇所も多い。外装の位置の自由度が高いので、ポージングをある程度位置をこまかく調整していく。無改造でも思ったくらいポージングに近く見られるはずだ。



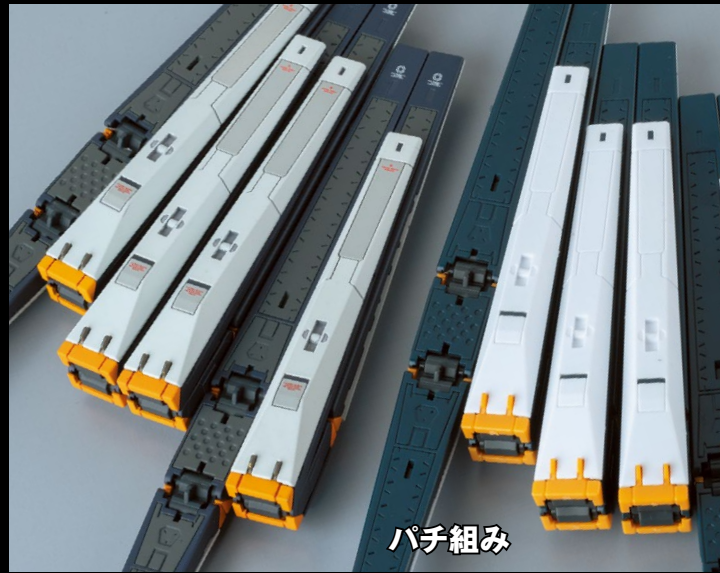
パチ組み

HWSを着せたいならアウトラインは無改造で。塗り分け塗装とディテール小工作でここまで変わる

- 「白い」外装の塗り分けのポイントは、白とグレーのトーンの差をつけすぎないことと、暗い色は狭い面積のところに配置するようにすること。明度のトーンに差がつかずたり暗い色の面積が広すぎるとブチ模様のようにになってしまう。全体的に見て、明るい白4に対してグレー1くらいの面積比になるようにするとバランスよくまとめやすい
- 設定画では単色の関節メカ部でも、ガンブラを塗るときは単色にしないようにするのが定石。関節部分を数色のグレーで塗り分けるだけで一気に見映えが上がる。関節部の色分けは、色味や明るさのトーンの差をつけすぎないのがポイント。差をつけすぎるとメカ部がまとまりのない印象になる。また、部分的に金属色を使うのもよいだろう



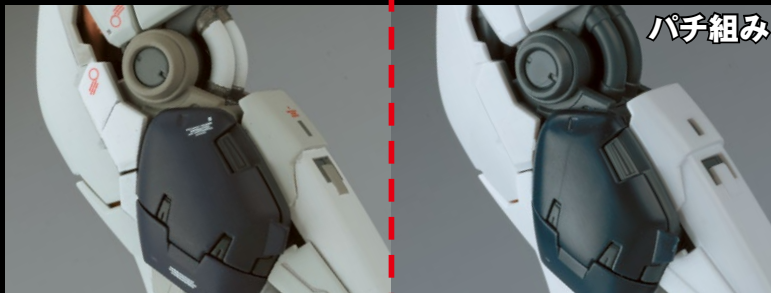
パチ組み



パチ組み



パチ組み



パチ組み



パチ組み

RG



MG Ver.Ka



●MG Ver.Kaは、頭部が面長で大きく、胸部も大きめ。ヒザアーマー上端が短めなのでは下が短めに見える。全体に胸体周辺のポリウムがありかつりとした印象だ。それに対してRGは、小顔で胸部も小さめ。ヒザアーマー上端が長いので太ももが短くヒザ下が長く見える。さらに、フロントスカートが短いので脚全体がより長く見え、頭部の小ささをあわせて高頭身が強調されている。

RG?

RGのVガンダムとサザビーはMG Ver.Kaの単なる縮小版……ではありません！ 造形アレンジも構造もまったくの別物になっているので、ここでRGとMG Ver.Kaをがっちり比較してみましょう。アナタはどっちを作りたい？

大きさ以外もまったくの別物。アナタはどっちを作りたい？



- 両者ともに現在のガンダムの水準からするとかなり可動範囲が広いのだが、このふたつだけで比べるとRGのほうがさらに可動範囲が広がっている。MG Ver.Kaの股関節は、クランク状で回転するオフセット軸、RGは軸部のスイング可動になっているが、その差というよりはスカート可動範囲の影響が大きく、RGのほうが大きく太ももを上げることができるようになっている
- フィン・ファンネルの基本的な構成は両者ほぼ同じだが、RGは組み立て済みのアドヴァンスドMSジョイント15を採用したことでより組みやすくなった。濃いグレー部分のディテールはかなりアレンジが異なっている
- 頭部は、MG Ver.Kaのほうが伝統的な面長なイメージを反映している。いっぽうのRGは近年の一般的な「カッコいいガンダムフェイス」系造形で、フェイスの上下幅が狭くアンテナも開いた角度になった
- 情報量が多いので初見時は同じように見えるかもしれないが、よく見ていくと細部のデザインアレンジがかなり変わっていることがわかる。色分けは、MG Ver.Kaのほうがこまかい箇所もあるが、RGも1/144としては相当色分けにこだわって設計されている



RX-93 Vガンダム



- 両者ともに白い外装部分が真っ白と薄いグレーの2色になっているが、配色パターンが異なりその違いが全体の印象の差をもたらしている
- RGは、MG Ver.Kaでは一体だったスネのところに分割を追加。可動にあわせて隙間が開くような仕様となった。ふくらはぎ形状も、似ているようでまったく異なる立体解釈となっている

RG



MG VerKa



●RGのほうが高身長でスマートに見える全体的な傾向は、ガンダムと同じだが、サザビのほうが胸体の大きさが違いがより極端になっている。MG VerKaは胸部が幅広ながっちり系マッチョで、RGは胸部幅が狭い細マッチョといったカンジ。頭部はMG VerKaのほうが横幅がリムなバランスなのだが、RGは肩アーマーの面積が大きくもあって頭部が小さく見える。

ガンダムパedia
逆襲のサザビが作りた
C.C.0093

MG VerKa or



●ファンネルコンテナはともに展開するが、MG Ver.Kaは内部に固定具のようなディテールがありそれも開閉するようになっている
●ビーム・ショット・ライフルも両者で造形的な解釈がかなり異なっていて、RGのほうが角張った印象で色分けがされるようになった。フォアエンドはともに可動する
●MG Ver.Kaの頭部のほうが外形アウトラインは小さめなのだが、全体のバランスとしては、上下に平たくフェイス周辺の球形状が小振りなRGのほうが頭部が小さく見える
●vガンダムと同じように、基本色の赤を濃淡2色で色分けしているが、色分けのパターンはそれぞれで異なっている
●MG Ver.Kaは全体にエッジ曲面のRが大きめで、RGはエッジが角張った印象。また、RGは股間やリアスカートにフィン状のディテールを追加している
●黄色いスラスター部をパーツを2重にすることで色分けしているのは両者ともに同じだが、形状バランスは大きく異なっていて、それが外観の印象の差に繋がっている
●スネ周辺はアレンジが大きく異なる箇所。ともに外装が展開するが、ユニット分割と組み合わせ方がまったく別物になっている



MSN-04 サザビー



●リアスカートの展開ギミックは、RGは左右への展開のみ。MG VerKaは、左右展開に連動して下方に伸張し、スラスターが回転して表面側が4基になる。RGは、この部分はスラスターではなくマルチディテールとしている。

RG

MG VerKa



9784499233750

ISBN978-4-499-23375-0 C0076 ¥3600E

定価(本体3,600円+税)



1920076036002

Model Graphix GUNDAM ARCHIVES
"CCA/Hathaway"

© 創通・サンライズ

